

夏季の電力消費の特徴と節電方法のご紹介

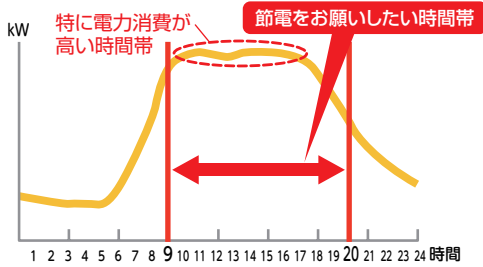
昨夏、昨冬に引き続いての節電のお願いとなり大変恐縮ではございますが、今夏の節電をお願いするにあたり、お客さまの業種における電力消費の特徴を踏まえた具体的な節電方法と節電効果をご案内させていただきます。

下記の取組みを参考にしていただき、需給状況に応じて、ご事情の許す範囲で可能な限りの節電にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

電力消費の特徴

【1日の電気の使われ方<夏期のピーク日>】

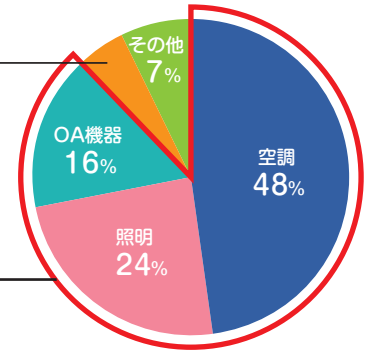
例えば、一般的なオフィスビルにおいては、日中(9時~17時)に高い消費電力が続きます。



【電力消費の内訳<夏期のピーク時断面>】

ピーク時の電力消費のうち、エレベーター5%、空調が約48%、照明及びOA機器(パソコン、コピー機等)が約40%を占めます。

空調、照明、OA機器で約88%



出典:資源エネルギー庁推計

節電の取組みについては、空調・照明・OA機器の電力使用の工夫をご検討願います。

節電取組み方法例

下記の効果的な節電項目の取組みにご協力をお願いいたします。

【効果的な節電項目】

照明	室内の照明を半分程度間引き(冷房負荷低減効果もあります)
	使用していないエリア(会議室、廊下等)の消灯
空調 (電気式の場合)	室内温度を28℃に設定
	使用していないエリアの空調を停止
OA機器	待機電力の抑制のために可能な範囲で、不使用機器のコンセントを抜く ●長時間使用しない時(外出・出張)は、OA機器の電源をOFF。もしくは、省エネモードに設定願います。

建物全体に対する節電効果(試算)

13%(例:800ルクス→400ルクス)
3%未満
4%(例:26℃→28℃)
2%
3%

※節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。

※一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。

上記の節電項目に合わせて以下の取組みをご検討いただければ、さらに効果的です。

空調	●日射を遮るブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用し、室内温度の上昇を抑制 ●室外機周辺の障害物を取り除くとともに、すだれ等を活用し、直射日光を避ける ●空調機のメンテナンスや設定変更(裏面参照) 他
照明・コンセント・動力	●昼休みや休憩時間の消灯を実施 ●高効率蛍光灯やLED照明への交換 ●エレベーターやエスカレーター稼働を停止もしくは半減 ●洗面台等の下にある電気式給湯機、給茶器、温水洗浄便座、エアタオル等のプラグをコンセントから抜く 他
その他	●デマンド監視装置を導入し、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施(裏面参照) ●自家発電設備(常用)の活用 他

出典:経済産業省 夏の節電メニューより抜粋

弊社は広くお客さまに節電のご理解をいただけるように努めてまいります。施設や店舗内等の掲示に必要なチラシやポスターもご準備させていただきますので、弊社までお問い合わせ願います。

また、節電のお取組みにあたっては、保健衛生上、安全上等に支障をきたさないようご配慮のうえ、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

需給状況に応じて、ご事情の許す範囲で可能な限りの節電にご協力をお願い申し上げます